

経済産業大臣賞 「事業所・地方公共団体等」分野	受賞者名
	昭和電工株式会社
	所在地 東京都港区
受賞テーマ	昭和電工グループ 全員参加のアルミ缶リサイクル活動 40 周年

国内初のアルミ缶製造企業として、発足した昭和アルミニウム缶株式会社。その操業開始（1971 年）からアルミ缶のリサイクルを続け、昭和電工グループ全体へと広がったアルミ缶リサイクル活動は 2011 年までの 40 年間で実に 335 億缶（＝350ml 缶＝約 50 万トン）。



現在では昭和電工グループ会社 18 社、その全社員 9,003 人（H25 年 3 月末時点）を対象にアルミ缶リサイクル活動目標を掲げ、積極的に回収活動を実施している。

CSR 活動の一環として始めた社内でのアルミ缶リサイクル活動は昭和電工グループとしての意識の一体化を育み、グループの各事業場では近隣住民とともにアルミ缶の回収活動も行い、アルミ缶の売却代金を近くの学校、子供会、自治会、敬老会などに寄付しており、アルミ缶のリサイクル活動を通して地域との共生が図られている。

昭和電工グループのアルミ缶リサイクル活動目標は以下の通り。

- ①全員参加とし、参加率 100% を達成する。
- ②3 ヶ月間に 100 缶/人のアルミ缶回収を達成する。

昭和電工グループのアルミ缶リサイクル活動の歴史

年	できごと
1969 年	昭和アルミニウム缶(株)設立
1971 年	日本で初めてアルミ製ビール缶を製造
1972 年	昭和アルミニウム(株)従業員へアルミ缶のリサイクルを呼びかける
1973 年	昭和アルミニウム缶(株)・初代社長の主導で業界団体・オールアルミニウム缶回収協会(現在のアルミ缶リサイクル協会)が発足
1981 年	昭和アルミニウム(株)の堺(大阪府)・小山(栃木県)の2事業所で、近隣ボランティアから使用済みアルミ缶の回収活動をスタート
1990 年	昭和アルミニウム(株)で全社的なアルミ缶リサイクル活動をスタート。社員からの使用済みアルミ缶の有償回収を開始
1991 年	昭和アルミニウム(株)でアルミ缶リサイクル推進協議会が発足、関係会社を含めた企業グループとしてのリサイクル活動がスタート
1995 年	(株)昭和アルミ缶リサイクルセンターを設立、使用済みアルミ缶を再びアルミ缶用の材料にする体制(Can-to-Can)が整う
2001 年	昭和アルミニウム(株)と昭和電工(株)の合併を機に、旧・昭和電工(株)の事業所・関係会社にもアルミ缶リサイクル活動を拡大
2011 年	アルミ缶リサイクル活動開始から 40 周年を迎える